



気高だより

2018年12月21日発行

宮城県気仙沼尚寺学校

<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp>

〒988-0051 宮城県気仙沼市常楽130

TEL0226-24-3400

Fax0226-24-3408



スーパーグローバルハイスクール

スポーツマンシップ

教頭 千葉 忠幸

「スポーツマンシップって何ですか」と聞かれると戸惑う人も多いと思います。「宣誓、我々選手一同はスポーツマンシップに則り・・・」というあれです。

小平奈緒選手は平昌オリンピックのスピードスケート女子500mの金メダリストで、今季のワールドカップでも活躍中の選手ですが、その平昌オリンピックでの彼女のある行動がとても格好良く、まさにスポーツマンだと思われました。

スピードスケート女子500mで最終組の一つ前でスタートを切った小平選手がオリンピック新記録のタイムを叩き出し、暫定1位となった瞬間、「ドーン」と歓声が響きわたりました。しかし、小平選手は大喜びするわけでもなく、リンクを回りながら口元に人差し指を添え、「静かに」と訴えていたのです。その理由を小平選手は次のように言っています。「新記録を出したことに満足感はあったけれど、次は3連覇のかかる地元・韓国のイ・サンファ選手で、彼女がここに賭けてきた時間も知っているから、集中できる環境を作ってほしい。その他の選手にもベストな滑りをしてほしい」と。

オリンピックという大舞台で自分の好タイムに舞い上がる事もなく、冷静に次の選手に対して気遣いをみせる行動は他の選手（相手）を尊重する「尊敬」からきているものだと思います。

スポーツマンシップの精神の柱は「尊敬」「勇気」「覚悟」と言われますが、これは一般社会にも当てはめられます。

統合1年目、新生・気仙沼高校の生徒諸君は「尊敬」「勇気」「覚悟」を持ってこの8ヶ月を進んできたのではないのでしょうか。

これからもその気持ちを大事に邁進してほしいと願っています。

気高生の活躍（7月以降）

○フェンシング競技

第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）9月30日～10月3日

少年男子第5位 宮城チーム（3年村上 拳）

少年女子2回戦敗退 宮城チーム（3年 鈴木 古都）

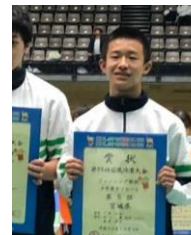
○陸上競技

第67回宮城県高等学校新人陸上競技大会（9月7日～10日）

女子七種競技 第1位 小野寺 涼

第23回東北高等学校新人陸上競技選手権大会（9月28日～30日）

女子七種競技 第2位 小野寺 涼



フェンシング部
村上 拳



陸上部
小野寺 涼

○平成30年度第2回『「わたしのおすすめしたい本」ポップコンクール』

優良賞 安住 日希 佐藤 花音

特別賞 穀田 萌花

○第9回「いっしょに読もう! 新聞コンクール」

優秀学校賞 気仙沼高校

奨励賞 西條 美都

○マリンチャレンジプログラム2018 北海道東北大会（8月6日）

研究テーマ 「季節による十八鳴浜の変化」

優秀賞 齋藤 一輝（研究代表者）

（3月10日に行われる全国大会に出場）

○第25回全国高等学校デザイン選手権大会決勝大会（10月26日～28日）

タイトル「みなとまち大漁海プロジェクト」

市民賞 佐藤 杏香 菅原 碧

○京都学園大学高校生論文コンテスト2018

最優秀賞 佐々木 梨花



マリンチャレンジ北海道東北大会



デザイン選手権 市民賞受賞

PICKUP SCHOOL LIFE

8月 気高祭

8月31日(金)
9月1日(土)、
新生気仙沼高校
としての最初の気
高祭が行われま
した。今年のテー
マは「Show Time」
合唱コンクール



の後、全定合同開会式で幕を開け、文化部ステージ発表、動画コンクールなどが体育館で行われ、校舎内では、文化部発表や部活動・クラス単位での模擬店が開かれ、大いに賑わいました。

10月 芸術鑑賞会

10月2日(火) 気仙沼市民会館大ホールを会場に、芸術鑑賞会が行われました。今年ウィリアムス浩子をヴォーカルに故エルビンジョーンズや日野皓正のバンドメンバーでもあったソニックレボリューションジャズバンドを迎え、ジャズのスタンダードナンバーやクラシックのアレンジなど迫力ある演奏が繰り広げられました。生徒も職員もスウィングし“大人の音楽”に酔いしれていました。



10月 開校記念式典

10月27日(土)に気仙沼西高校との統合に伴う開校記念式典が執り行われました。気仙沼高校や西高校の歴代関係者の方々にご出席いただき、新生・気仙沼高校の幕開けを祝っていただきました。式典後の記念講演では、気仙沼高校OBの生島淳さんが「気高生がスポーツジャーナリストになるまで」と題して、高校時代の思い出を交えながら気高生に熱いエールを送ってくれました。



12月 修学旅行

12月2日(日)から6日(木)まで、2学年が修学旅行に行ってきました。京都・大阪を中心とした4泊5日の旅は天候にも恵まれて、生徒は予定通り研修をすることができました。また、4日目には京都大学や明石天文台、大和ハウス工業など7つのコースに分かれて、自分の興味のある分野についての知識を深めることができました。



2年生にとってはいよいよ自分の進路と向き合うこととなります。今回の研修で学んだことを生かして頑張してほしいと思います。

第9回 ESD 大賞 文部科学大臣賞受賞

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム主催の第9回 ESD 大賞で文部科学大臣賞に選ばれ、12月8日(土)に横浜で行われたユネスコスクール全国大会で表彰されました。ESDとは「持続可能な開発のための教育」と訳されており、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことです。ESDで育むべき資質・能力は、持続可能な開発に関する価値観(人間の尊重、多様性の尊重、環境の尊重等)、体系的な思考力(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)、代替案の思考力、データや情報の分析能力、コミュニケーション能力、リーダーシップの向上などが挙げられます。

気仙沼高校・気仙沼西高校ともに平成20年度にユネスコスクールに認定されESDに取り組んできました。両校の統合を踏まえ、ESDの活動内容を見直し「グローバルな視点を持って地域社会の創造に貢献する志と実践力を兼ね備えた人材育成」をテーマに平成28年度から実践してきました。SGHの指定も追い風となり、学校全体でESDの視点を取り入れた探究型学習、国際理解・防災・志に関する学習を実践していること、学校での学びを生かして生徒が主体的に社会課題の解決に向けて様々な活動を展開していることが評価されました。

気仙沼市内の全小中学校がユネスコスクールに認定されており、それぞれの特徴を生かしたESDに取り組んでいます。本校での学びが「気仙沼地域と連携した学びの最終段階」であることを意識し、幼保小中での学びをさらに生かしたものとなるよう努めていきます。これまでご支援、ご協力いただいた皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。



文部科学大臣賞受賞

「地域社会研究」学年発表会について(お知らせ)

SGH 事業である1学年生徒による学校設定科目「地域社会研究」学年発表会を下記のとおり行いますので、多くの皆様に参加いただきますようご案内申し上げます。(保護者の皆様には1月に入ってから案内文書を配布いたします)

○日時 平成31年1月26日(土) 午前10時~12時45分 ○場所 気仙沼高校 第1体育館